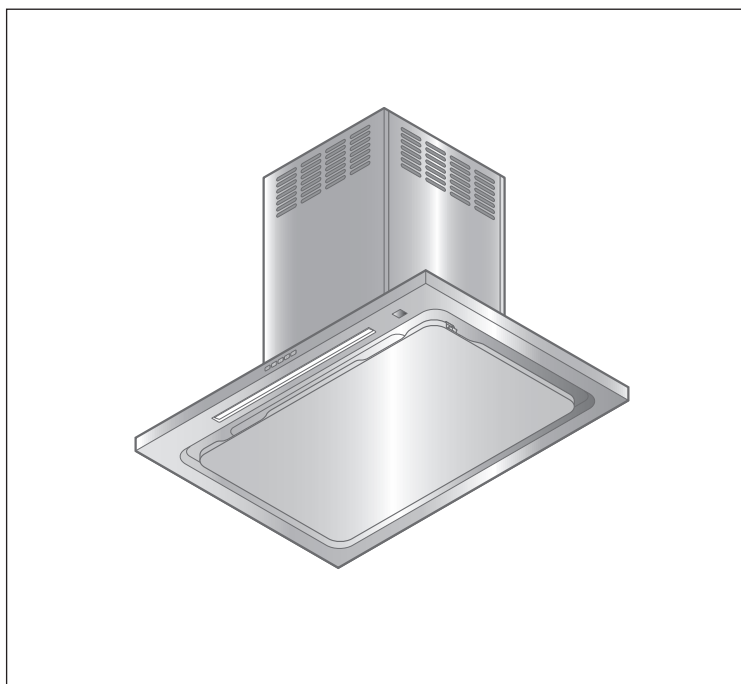


IHクッキングヒーター専用 室内循環フード 取付説明書



も く じ

安全上のご注意.....	2～3
取り付け上のお願い.....	4
取り付け前の調査と準備.....	4～6
各部のなまえ.....	7
付属品.....	8
製品寸法図.....	9
取り付けかた.....	10～27
1. 付属品の確認.....	10
2. フード・本体の準備.....	11～14
3. 本体の取り付け.....	15～16
4. 電気配線.....	17～18
5. フードの取り付け.....	19～21
6. 横ふた・フィルター類・ 前ふた・後ふたの取り付け.....	22～26
7. 試運転.....	27
8. お客様への説明.....	27

販売店・工事店様へ：

この取付説明書は取り付け後、
施主様へ必ずお渡しください。

取り付け前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、
正しく取り付けをおこなってください。

1J03 3681



* 1 J 0 3 3 6 8 1 *

安全上のご注意



- 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けをおこなってください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意** : 人が軽傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

-  記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
-  記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

警告



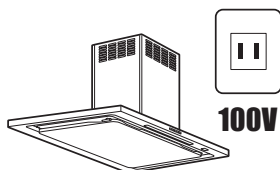
分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります



埋込禁止

- 室内循環フードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります



使用禁止

- IHクッキングヒーター以外には使用禁止
ガスコンロには使用できません。
本製品は燃焼発生ガスを浄化できませんので、一酸化炭素中毒の原因となります。



アースを
取り付ける

- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください



換気をする

- 燃焼器具と併用して使用する場合は、必ず換気をする
本製品は屋外への排気および換気をおこないません。
カセットコンロ、石油ストーブ等の燃焼器具を使用する場合、必ず別途換気をおこなってください。
一酸化炭素中毒の原因となります。



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因となります

安全上のご注意

警告



取付注意

- 電源は専用のブレーカーを設けること
火災・故障の原因になります



取付注意

- 室内循環フード本体と可燃物との間を
10cm 以上離すが、不燃材料を使用して
可燃物を覆うこと

火災などの原因になります
詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせ
ください



取付注意

- 室内循環フードは、薄板の金属部（壁内
ラス網など）と接触しないよう取り付け
ること

漏電した場合、発火するおそれがあります

注意



使用禁止

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に
使わないこと

（浴室用換気扇をお使いください）
感電および故障の原因になります



使用禁止

- 施工時に換気目的で本製品を運転しない
こと

内装工事等で有機溶剤（塗料・シンナー・
ボンド等）を使用中や使用直後に運転す
ると、脱臭フィルター等に吸着・蓄積され、
実際の運転中に薬剤成分・臭いが吹出し
口から放出され、健康を害するおそれ
があります
施工時は別途換気をおこなってください



取付禁止

- 周囲温度が 40℃ 以上になるところ
には取り付けないこと

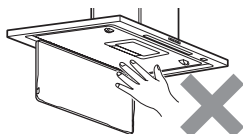
火災・故障の原因になります



接触禁止

- 運転中は、指や
物を絶対に入れ
ないこと

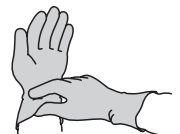
けがをするお
それがあります



手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず
厚手の手袋をすること

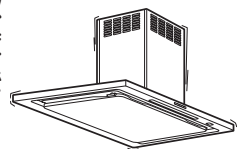
鋼板の切り口や角でけが
をするおそれがあります



取付注意

- 室内循環フードの取
り付けは、十分強度
のあるところを選んで
確実におこなうこと

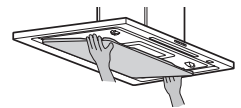
落下によりけがをす
るおそれがあります



取付注意

- 部品の取り付けは確
実におこなうこと

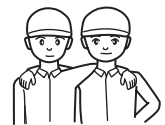
落下によりけがをす
るおそれがあります



取付注意

- 作業は 2 人以上で
おこなうこと

室内循環フードは
約 42kg の重さが
あります



取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者がおこなう必要があります。

- **大工事**

- 【設置のための下地工事等】

- **配線工事**

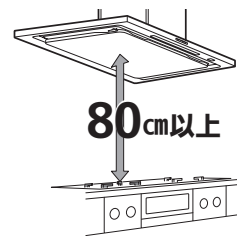
- 【コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等】

流通業者（販売店）を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別しておこなってください。

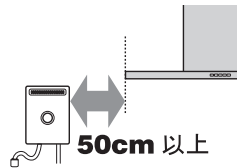
- IHクッキングヒーターの幅は室内循環フードの幅以内のものをご使用ください。
IHクッキングヒーターは室内循環フードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。捕集性能が低下します。

- 室内循環フード取付面の補強部に、取付用座付ねじが確実に届くことを確認してください。
本体の取付用座付ねじは45mmの長さのものが同梱されておりますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座付ねじが確実に補強部に届くことを確認してください。
また、室内循環フード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。

- 室内循環フードはIHクッキングヒーターの真上に取り付けてください。
なお、室内循環フード取付高さは、室内循環フードの下端がIHクッキングヒーターの真上80cm以上になるようにしてください。



- 室内循環フード下部には、湯沸器を絶対に取り付けしないでください。また、横方向50cm以上離して取り付けください。湯沸器の真上は高熱になるため故障の原因になります。



- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におやめください。
- 部屋の中央で調理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。
- 汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶剤を使用しないでください。
塗装面が変色したり、はがれたりすることがあります。

取り付け前の調査と準備

警告



分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



埋込禁止

- 室内循環フードの壁への埋め込みはしないこと
漏電した場合、発火するおそれがあります



取付注意

- 電源は専用のブレーカーを設けること
火災・故障の原因になります



取付注意

- 室内循環フードは、薄板の金属部（壁内ラス網など）と接触しないよう取り付けること
漏電した場合、発火するおそれがあります

取り付け前の調査と準備

⚠ 注意



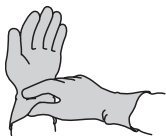
取付禁止

- 周囲温度が 40℃以上になるところには
取り付けないこと
火災・故障の原因になります



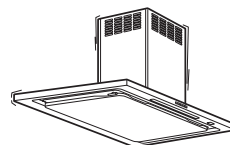
手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

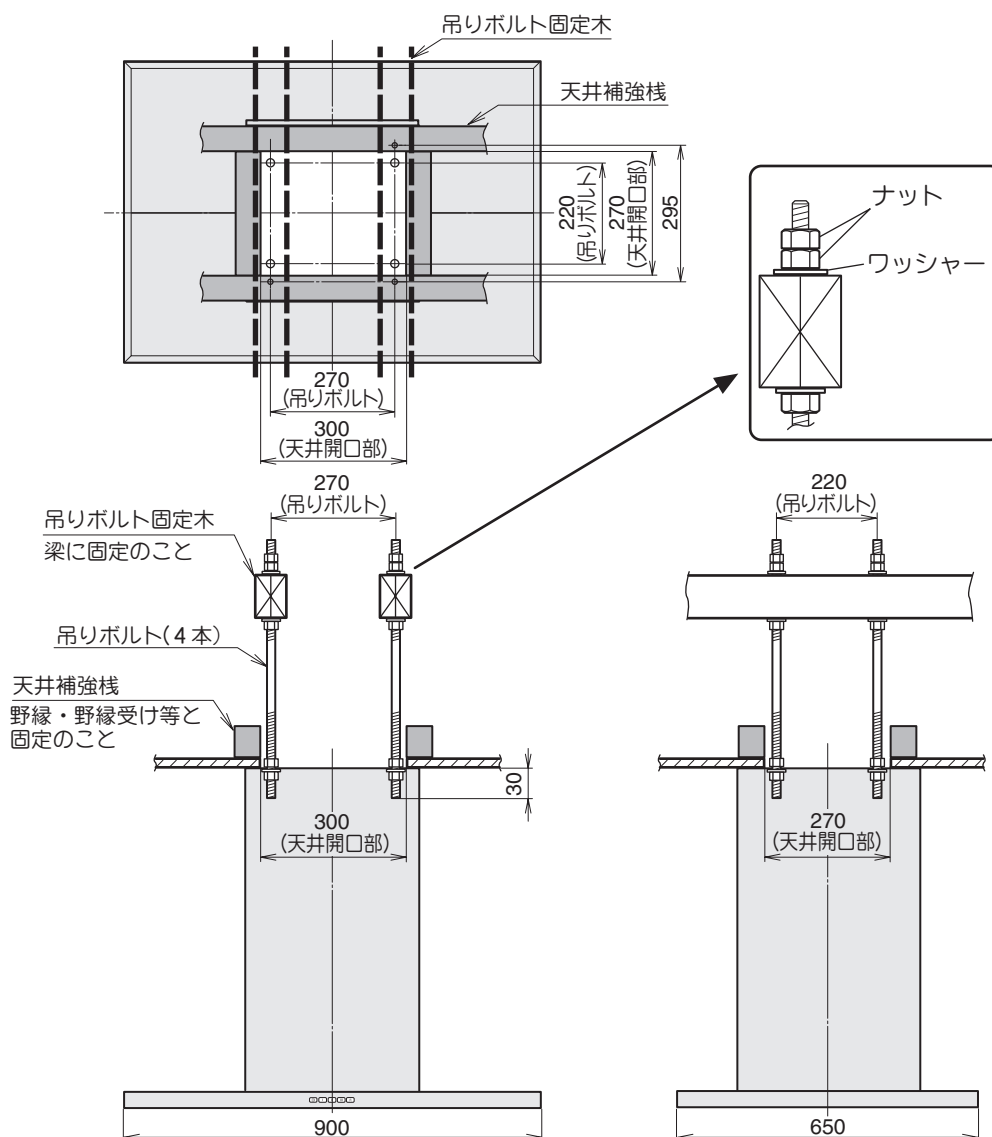


取付注意

- 室内循環フードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実に起こすこと
落下によりけがをするおそれがあります



■ 取付要領図 (単位：mm)



取り付け前の調査と準備

■ 取付位置の強度確認

製品を支える強さが必要です。

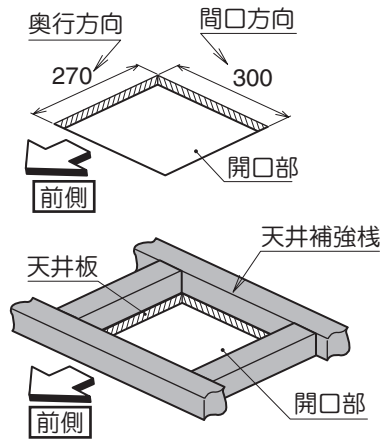
製品単体質量	42 kg
--------	-------

1 天井面への穴あけ

1) 天井面の本体を取り付ける位置に間口 300×奥行 270 の開口をあけてください。

2) 開口部周辺を補強枠で補強してください。

※ 補強枠は、野縁・野縁受け等に固定してください。



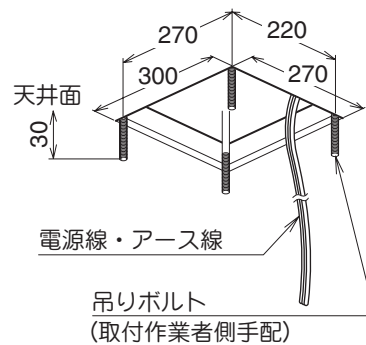
(単位：mm)

2 吊りボルトの取り付け

本体の天吊り穴に合わせて、吊りボルトを垂らしてください。

※ 吊りボルトは、M10～M12 を用いてください。

※ 吊りボルトは製品を支える十分な強度を確保してください。必要となる強度は、建物の条件、耐震クラスなどにより異なります。



(単位：mm)

3 標準取付寸法

本製品の標準取付寸法は、IHクッキングヒーターの上面から製品の下端まで 80cm です。

※ 火災予防条例では、グリスフィルターの下端が IHクッキングヒーターの真上 80cm 以上必要となっています。

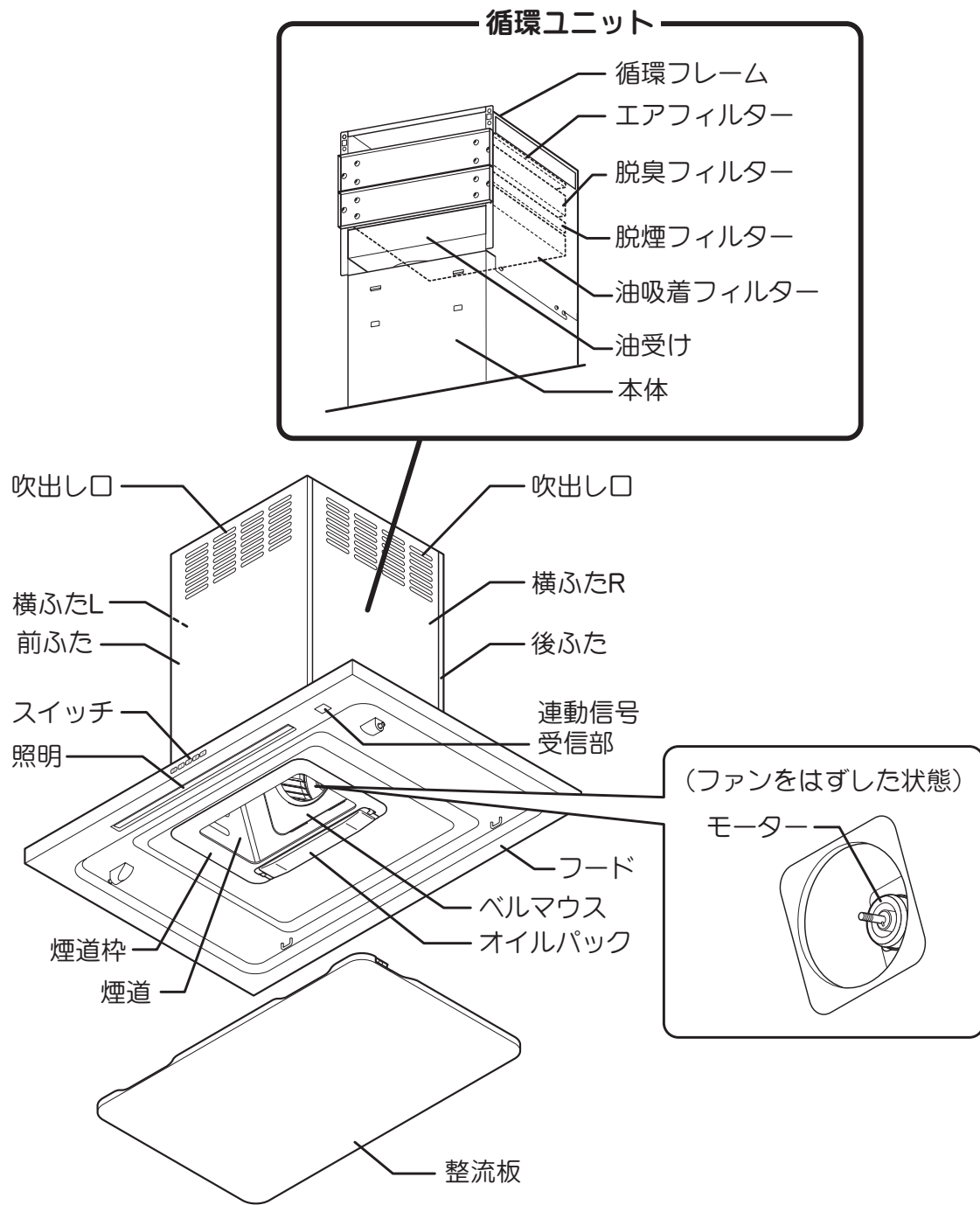
4 電源線・ブレーカー

- ・ 本体を設置する場所に電源線とアース線を 1000mm 引き出してください。(本製品は交流・单相 100V 仕様です。)
- ・ 電源線は VVF ケーブル 2 芯φ 1.6 または φ2.0 の単線を使用してください。より線は使用しないでください。
- ・ ブレーカーは専用のものを設置してください。

お願い



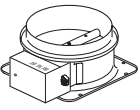




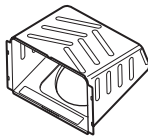
必ずアース工事 (D 種接地工事) をしてください。
室内循環フードが誤作動することがあります。

各部のなまえ

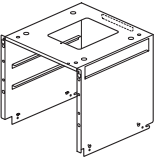
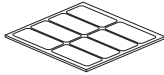
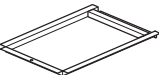
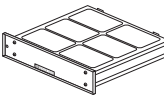
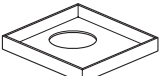
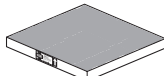
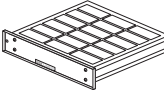


付属品

■ 室内循環フード本体付属品

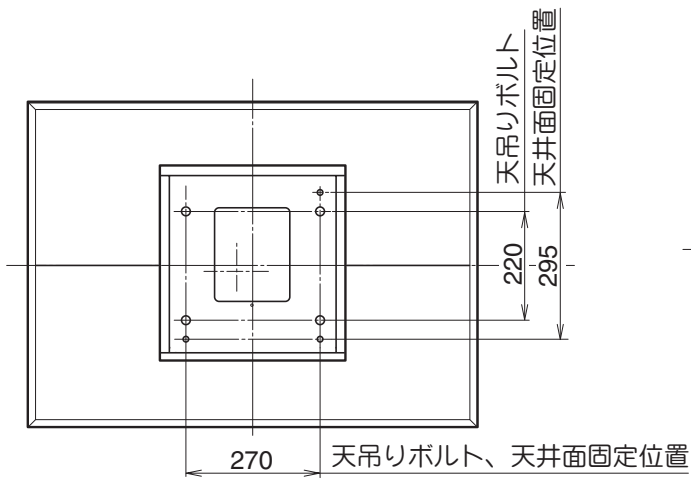
	座付ねじ φ 5.1 × 45 (3本)	本体の取り付けに 使います。		トラスねじ M5 × 12 (4本)	フードの取り付けに 使います。
	ナベねじ M4 × 8 (11本)	循環ユニットおよび 横ふた R/L の取り付け に使います。		トラスねじ M4 × 10 (19本)	煙道、フードおよび 循環ユニット、各フィル ターの取り付けに使用 します。
	排気口 (電動シャッ ター付) (1個)	本体と油受けの接続に 使います。		ソフトテープ (1本)	排気口と油受けとの すきまをふさぐのに使 います。
	ベルマウス (1個)	本体内部に取り付けま す。 (煙道にテープで固定さ れています。)		フード 固定金具 (1個)	フードと本体の固定に使 います。
	横ふた R/L (各1個)	循環フレーム本体部と 本体部をカバーします。		煙道 (1個)	本体内部に取り付けま す。
	前ふた・ 後ふた (各1個)				

■ 循環ユニット付属品 (別梱包)

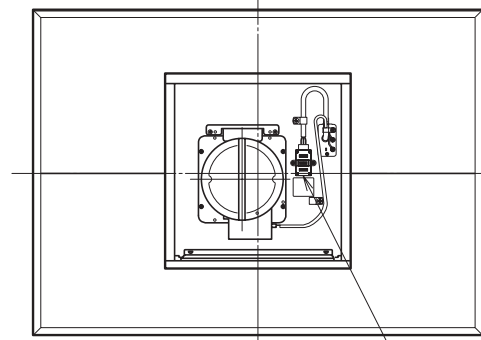
	循環フレーム 本体 (1個)	循環ユニット 構成部品です。		エアフィルター (1個)	循環ユニット 構成部品です。
	上ふた (1個)			脱臭 フィルター (1個)	
	油受け (1個)			脱煙 フィルター (1個)	
				油吸着 フィルター (1個)	

製品寸法図

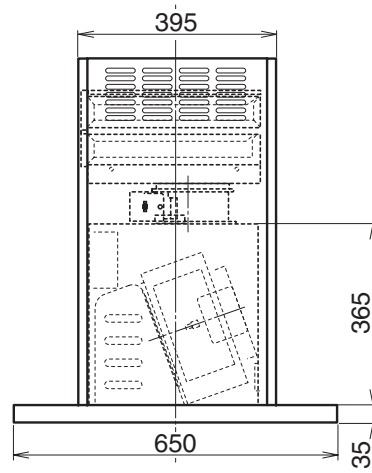
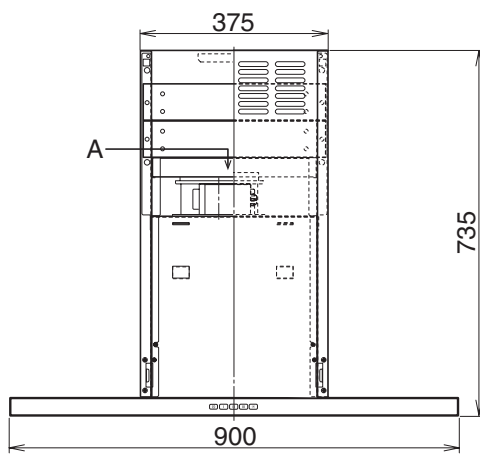
(単位：mm)



A矢視図



電源用端子台
AC100V入力
(アース端子含む)



取り付けかた

1. 付属品の確認

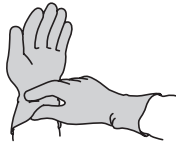
本製品は室内循環フード本体部と循環ユニット部が別梱包になっています。
室内循環フード本体部の梱包箱および循環ユニット部の付属品収納箱から付属品を取り出し、
付属品一覧（8 ページ）により不足がないか確認してください。

⚠ 注意



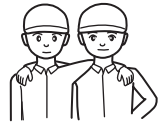
手袋をする

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角で指が
をすおそれがあります



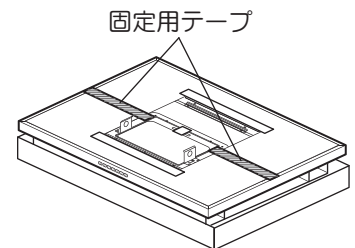
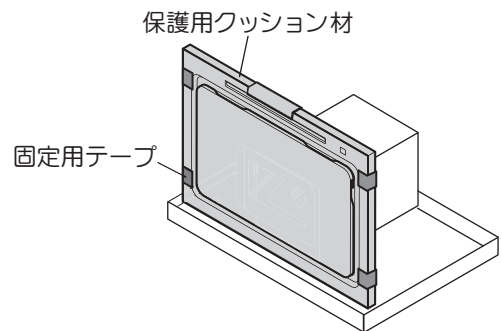
取付注意

- 作業は 2 人以上でおこなうこと
室内循環フードは約
42kg の重さがあります



お願い

- ・ 保護用のクッション材と固定テープはキズ・破損防止のため「7. 試運転」（27 ページ）まではずさないでください。
- ・ 床で作業する場合、本体および床にキズを付けないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこなってください。
- ・ 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注意してください。
- ・ 各種フィルター類の取り扱いには十分ご注意ください。落下させたり強くぶつけたりすると、フィルター内部が破損するおそれがあります。

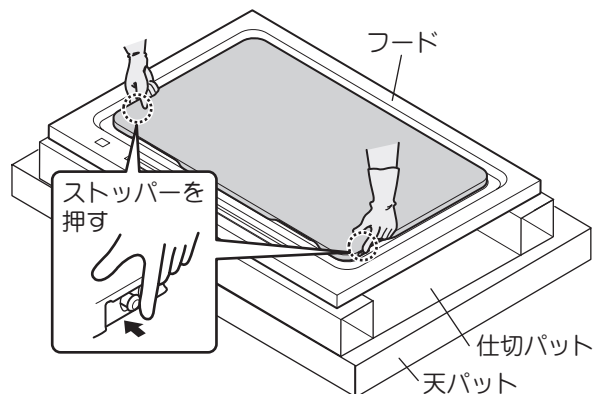


取り付けかた

2. フード・本体の準備

お願い

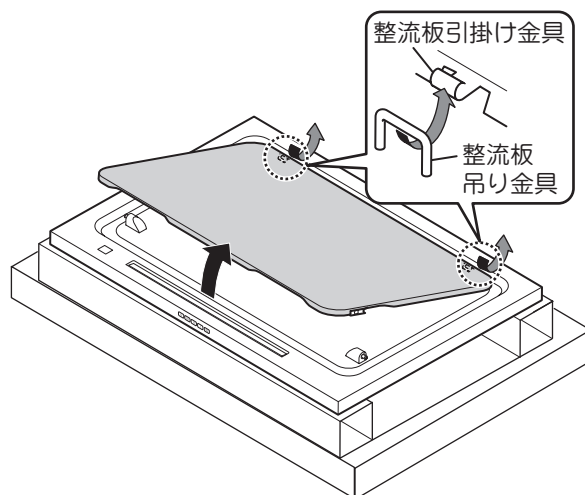
- ・はずしたねじは取り付けの際に使用しますのでなくさないでください。
- ・はずした部品は変形させないよう、平らな場所に置いてください。また、はずした部品で床などにキズをつけないようご注意ください。
- ・金具の変形防止のため、図のように必ず天パットの上に仕切パットを載せ、その上にフードを置いて作業してください。



■ フードの準備

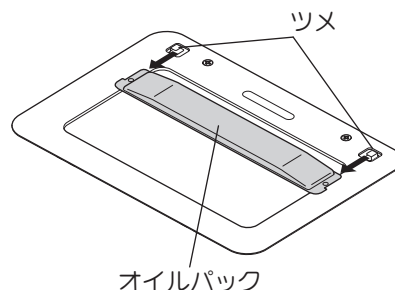
1 整流板をはずします。

- 1) 保護用のクッション材をはずし、整流板の左右にあるストッパーを押してはずします。
 - 2) 整流板を両手で支えながらゆっくりと開き、後ろを持ち上げて整流板吊り金具からはずします。
- ※ 必ず左右同時にはずしてください。金具の変形の原因になります。



2 オイルパックをはずします。

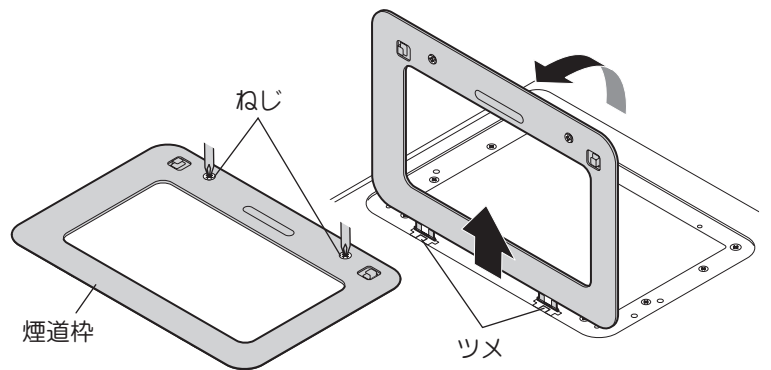
- 1) 固定テープをはがします。
- 2) オイルパックの両端を持って手前に引き、ツメからはずします。



取り付けかた

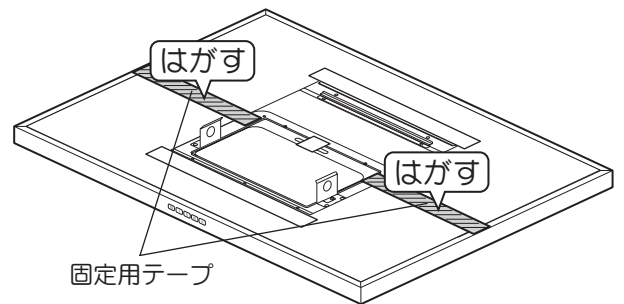
3 煙道枠をはずします。

- 1) 煙道枠を固定している2ヶ所のねじをゆるめます(ねじははずれません)。
- 2) ゆるめたねじ側をゆっくりと持ち上げ、反対側にある2ヶ所のツメをはずします。

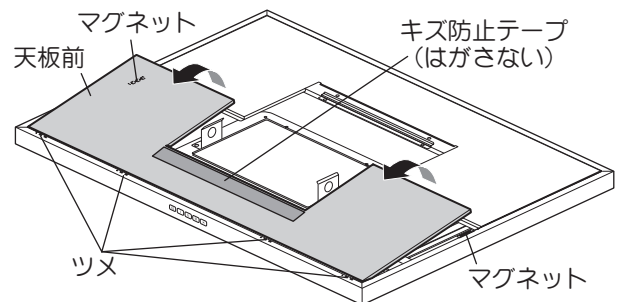


4 天板前・天板後をはずします。

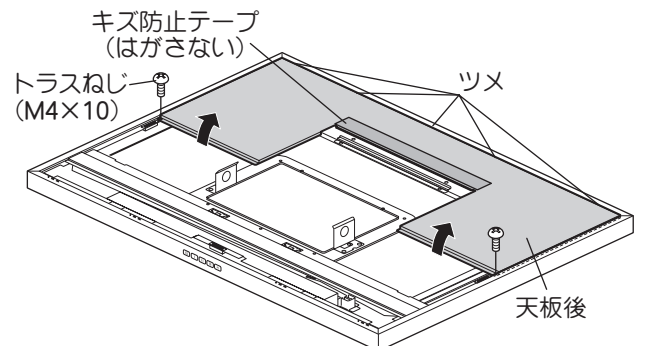
※ フードを天板が上面になるように置き、2ヶ所の固定用テープをはがします。



- 1) 天板前をななめに持ち上げ、ツメ4ヶ所をはずします。
※ 天板を変形させないようにご注意ください。



- 2) 天板後を固定しているトラスねじ(M4×10)2本をはずし、ななめに持ち上げてツメ5ヶ所をはずします。
※ 天板を変形させないようにご注意ください。
※ 取りはずしたねじは「5. フードの取り付け」手順3 (20ページ) にて再度使用しますので、なくさないでください。



お願い

天板に貼ってあるキス防止テープは取り付けが完了するまではがさないでください。

取り付けかた

■ 本体の準備

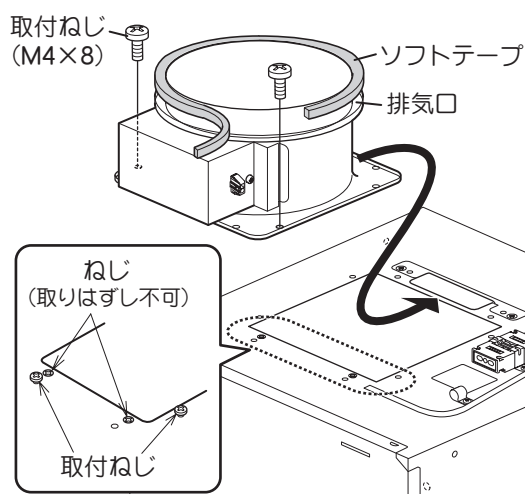
1 「1. 付属品の確認」の項で取り出した排気口を用意してください。

2 排気口を取り付けます。

お願い

手でシャッターを開閉すると故障の原因になりますのでおやめください。

1) 右図のように、排気口の上側端面に沿って付属品のソフトテープを貼り付けます。

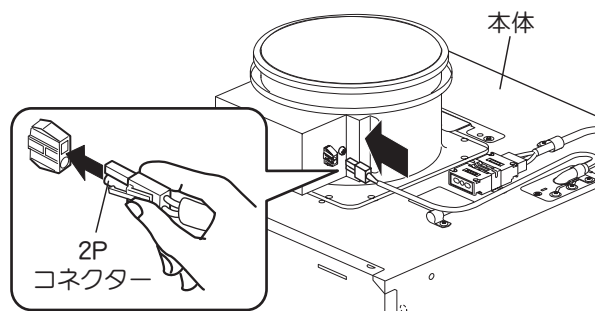


2) 本体に取り付けられている取付ねじ2本を取りはずし、付属品の排気口を差込部に差し込み、はずした取付ねじ2本で取り付けます。

※ 取付方向は右図を参照してください。

※ 取付ねじ近隣のねじは取りはずさないでください。

3) 本体部のコネクター付コード (2P コネクター) を排気口のコネクター接続部 (2P コネクター) に接続します。

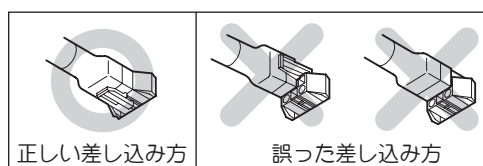


お願い

コネクターの接続について

コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合わせて確実にロックしてください。

接続が不十分な場合、室内循環フードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。



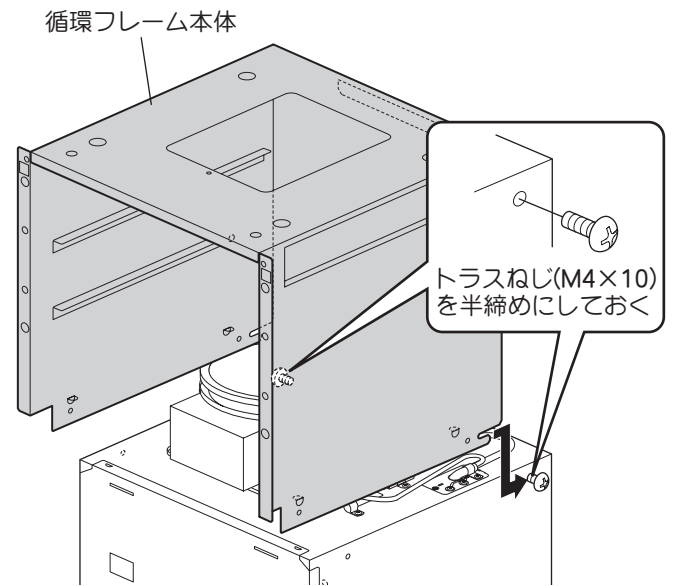
取り付けかた

3 循環フレーム本体を本体に取り付けます。

1) 付属品のトラスねじ (M4 × 10) 2 本を、フードの右図位置に半締めにしておきます。

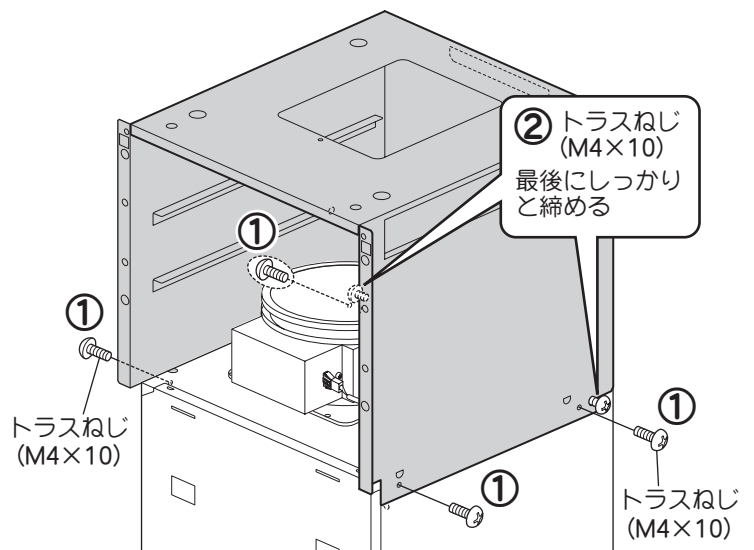
2) 別梱包品の循環フレーム本体を取り出します。

循環フレーム本体の後方下部にある左右の切り欠きを、本体に半締めしたトラスねじに引っ掛けます。



3) 左右4ヶ所 (①) を付属品のトラスねじ (M4 × 10) 4 本で固定します。

4) 手順 1) で取り付けした半締めのトラスねじ (M4 × 10) 2 本をしっかりと締め付けます (②)。



取り付けかた

3. 本体の取り付け

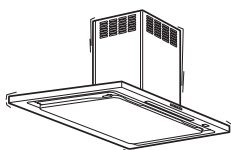
注意



取付注意

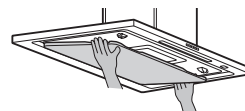
- 室内循環フードの取り付けは、十分強度のあるところを選んで確実に起こすこと

落下によりけがをするおそれがあります



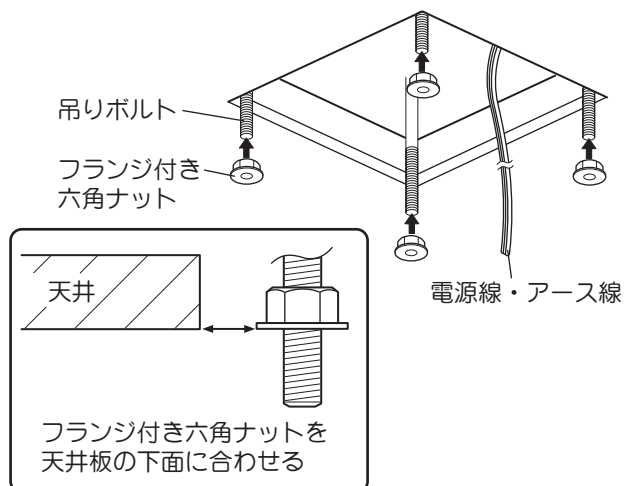
取付注意

- 部品の取り付けは確実に起こすこと
落下によりけがをするおそれがあります



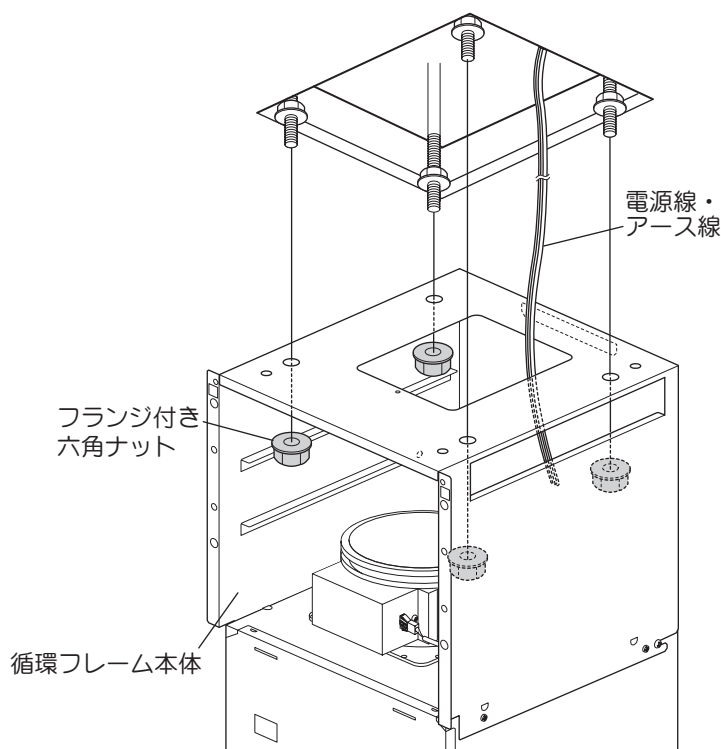
1 吊りボルトにフランジ付き六角ナットを取り付けます。

- 1) 吊りボルト 4 本にフランジ付き六角ナット（取付作業側手配）を天井板下面に合わせてセットします。
- 2) 電源線・アース線を天井開口部から引き出します。



2 循環フレーム本体を吊りボルトに固定します。

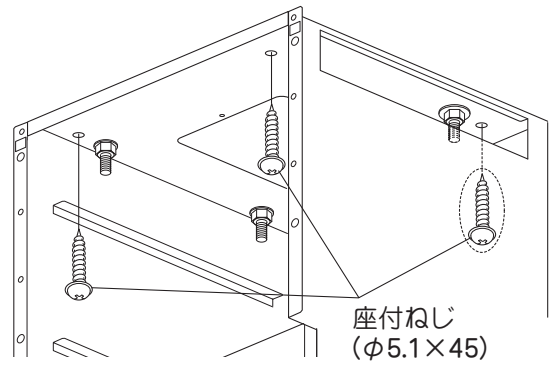
- 1) 電源線・アース線を循環フレーム本体上部の開口部に引き込みます。
- 2) 循環フレーム本体上部の穴に吊りボルトを差し込みます。
- 3) フランジ付き六角ナット（取付作業側手配）でしっかりと締め付けます。
※ 電源線・アース線を挟み込まないように注意してください。



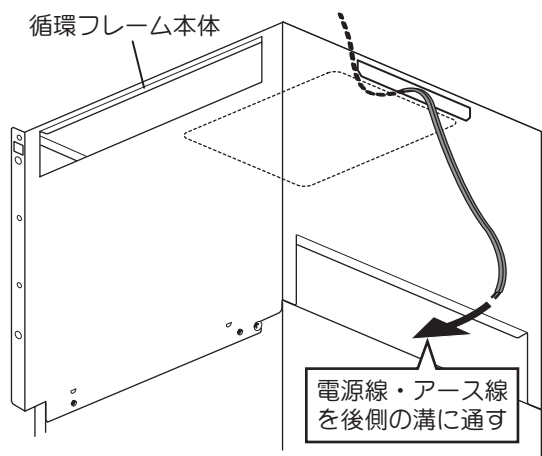
取り付けかた

3 本体を天井面に固定します。

- 1) 付属品の座付ねじ(φ 5.1 × 45) 3 本で天井に固定します。

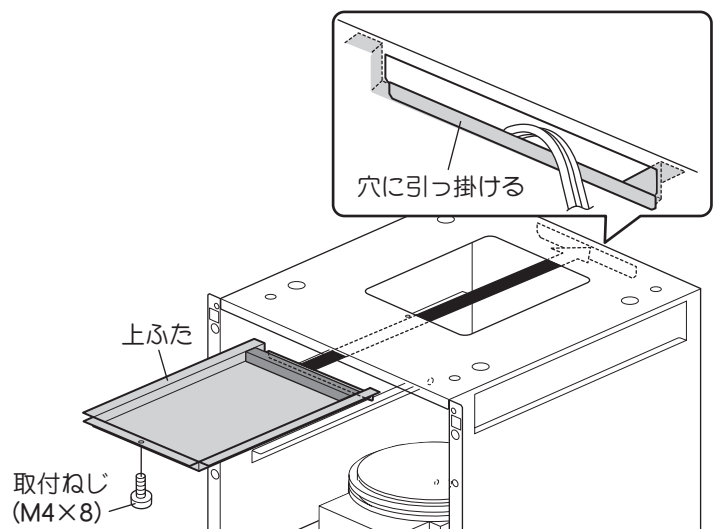


- 2) 電源線・アース線を循環フレーム本体背面上部の穴に通し、下部の穴から本体内部に引き込みます。



4 上ふたを固定します。

- 循環フレーム本体上部の溝に上ふたの先端を引っ掛け、手前側を付属品の取付ねじ(M4 × 8) で固定します。



取り付けかた

4. 電気配線

警告



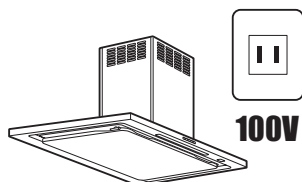
分解・修理・
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流 100V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります



取付注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

誤った配線工事は感電や火災の原因になります



アースを
取り付ける

- アースを確実に取り付けること

故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください



取付注意

- 電源は専用のブレーカーを設けること
火災・故障の原因になります

端子台に電源線を接続します。

お願い

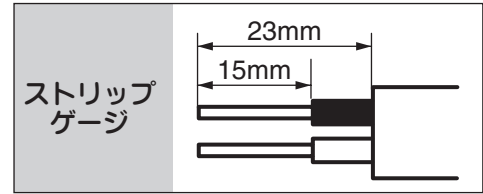
- ・必ず分電盤のブレーカーを切って作業してください。切らずにおこなうと感電やケガのおそれがあります。
 - ・端子台への接続電線は、VVF φ 1.6 または 2.0 の単線を使用し、より線は使用しないでください。
 - ・接続を間違えないでください。ショートする危険があります。
 - ・電線挿入時は確実に差し込んでください。挿入が不十分な場合、端子部が過熱し火災のおそれがあります。
 - ・電線の充電部は必ず絶縁処理をしてください。感電のおそれがあります。
 - ・必ずアース（D 種接地工事）をしてください。アース線は、端子台の電線穴③（PE）に取り付けてください。
- ※ アース線は取付作業側にて手配してください。

取り付けかた

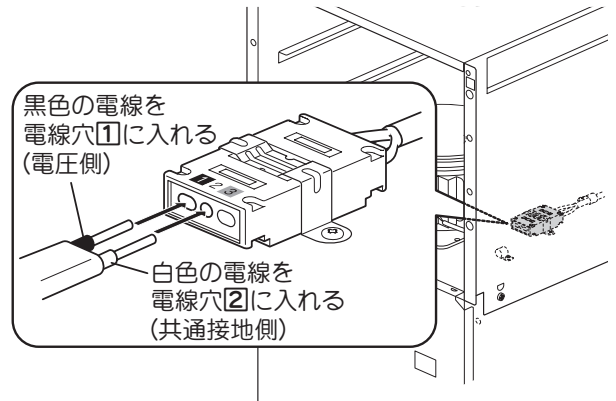
- 1) 電線被覆 2 本をストリップゲージに合わせてむきます。

お願い

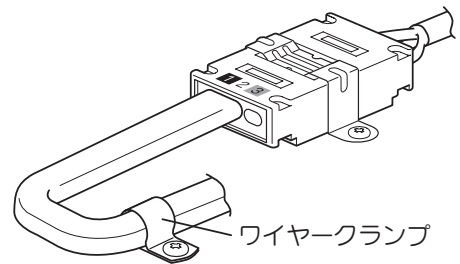
必ずストリップの長さを確認してください。



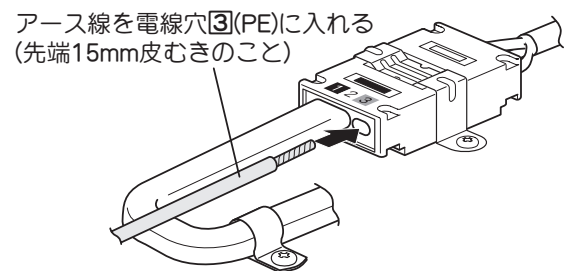
- 2) 端子台の電線穴に芯線を 2 本同時に奥まで差し込みます。



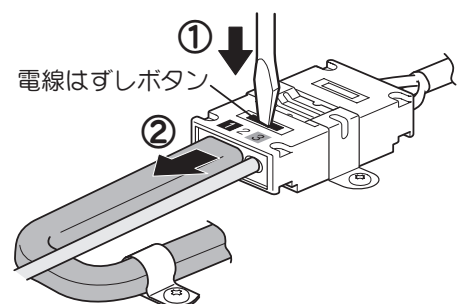
- 3) 充電部の露出がないことを確認し、ワイヤークランプにて電線を固定します。



- 4) アース線の先端を 15mm 皮むきし、電線穴③ (PE) に差し込みます。



- ※ 電源線をはずすときはマイナスドライバーで押しながら (①)、電線を引き抜きます (②)。



取り付けかた

5. フードの取り付け

1 フードを取り付けます。

- 1) フード後側の引掛け枠を本体後側に引っ掛け、フードを左に寄せます (①)。

お願い

配線を挟まないようご注意ください。

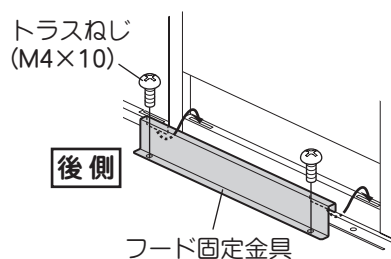
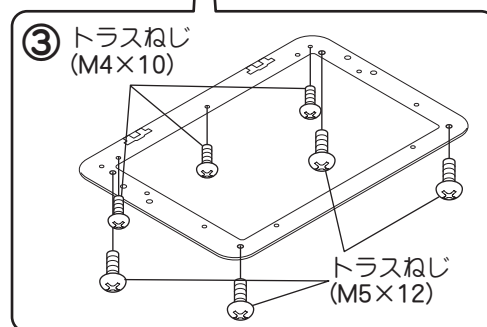
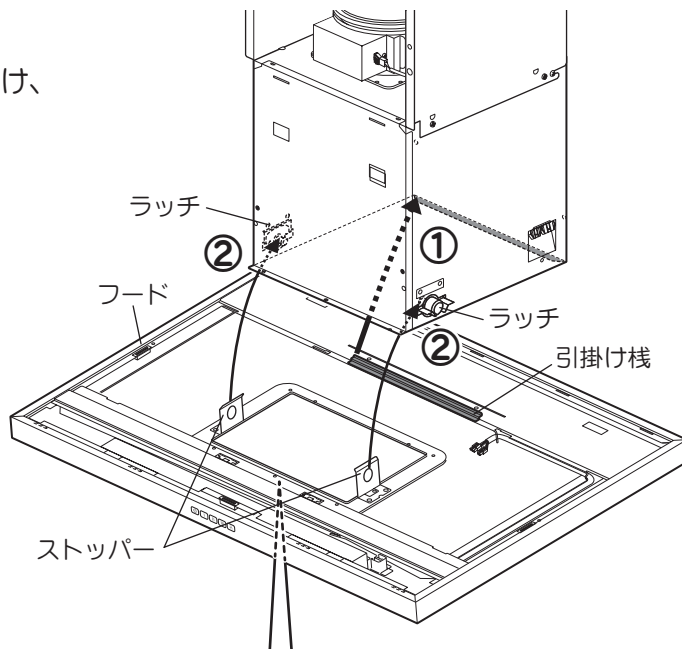
- 2) フード前側を持ち上げ、ストッパーが本体のラッチに「カチッ」とロックされるまで持ち上げます (②)。

お願い

ストッパーとラッチが確実に引っ掛かったことを確認してください。ロックが不完全なまま作業を続けると、フード部が落下するおそれがあります。

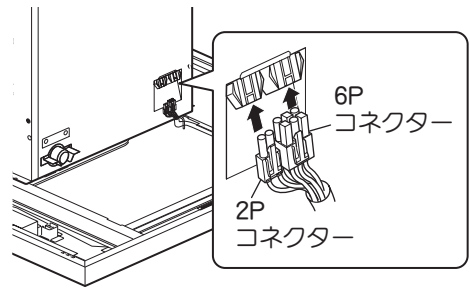
- 3) 付属品のトラスねじ (M4 × 10) 3本、(M5 × 12) 4本でフード下側から右図の各位置を固定します (③)。

- 4) 本体背面に付属品のフード固定金具を引っ掛け、トラスねじ (M4 × 10) 2本で固定します。



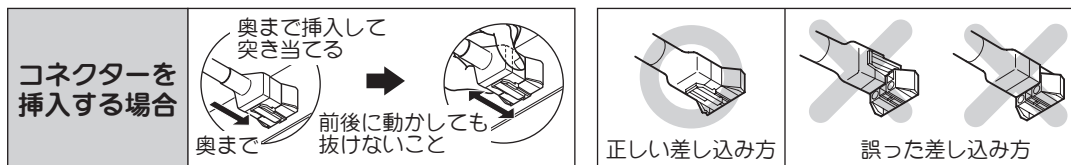
取り付けかた

- 2** コネクターを接続します。
フードから出ている電気配線のコネクター
2個(2Pおよび6P)を本体のコネクター(2P
および6P)に接続します。

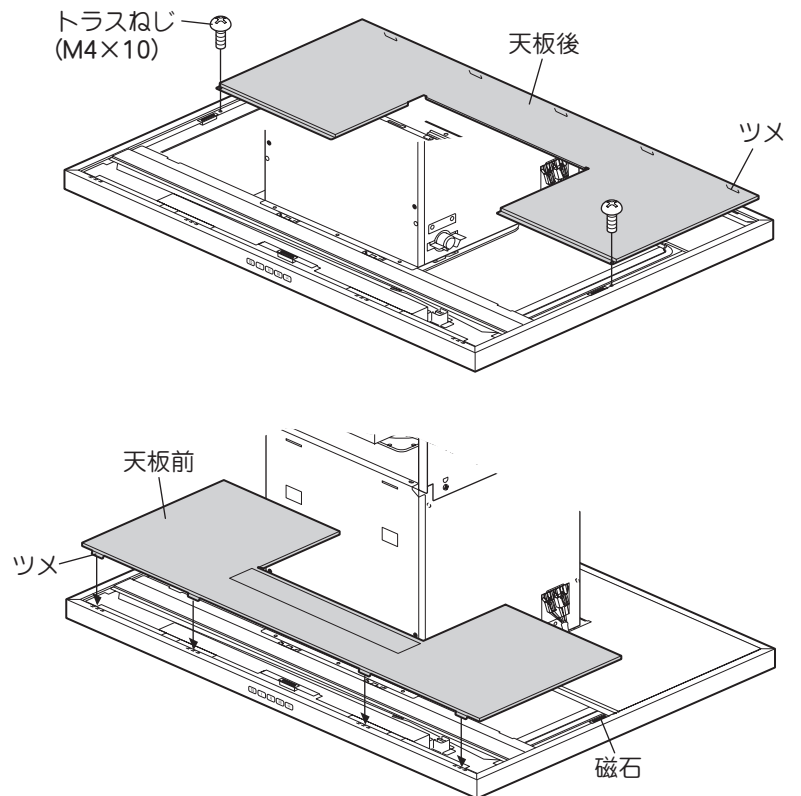


お願い

コネクターを挿入する際は、ツメの向きを合せて確実にロックしてください。接続が不十分な場合、室内循環フードが動作しない、発熱による故障などの原因になります。また、電源線、信号線は挟まないようご注意ください。



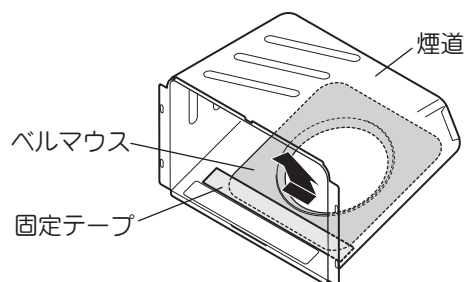
- 3** 天板前・天板後を取り付けます。
「2. フード・本体の準備」手順4 (12 ページ) で取りはずしたときと逆の手順 (天板後を先に取り付ける) で取り付けます。



取り付けかた

4 煙道を取り付けます。

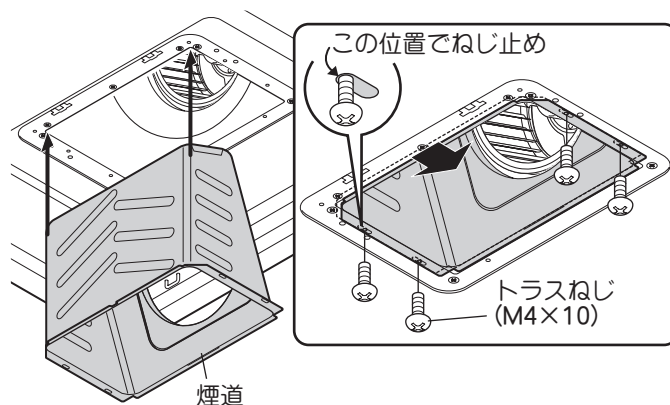
1) 付属品の煙道内の固定テープをはがし、ベルマウスをはずします。



2) 煙道をフード開口部の前側（スイッチ側）に沿わせるように挿入したあと、ファン側に押し込みます。

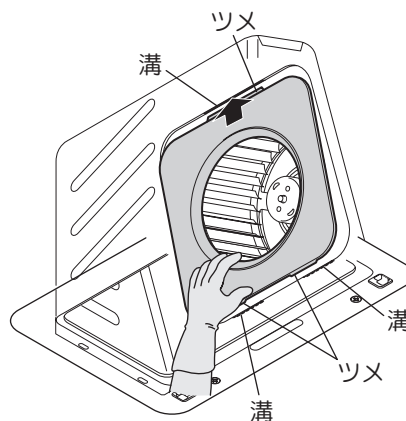
※ 煙道はキズをつけないよう、ゆっくりと差し入れてください。

3) 付属品のトラスねじ(M4×10)4本でフードに固定します。



5 ベルマウスを取り付けます。

ベルマウス上端のツメを本体の溝に差し込んでから、やや下方にずらして下端のツメを溝に入れます。



6 煙道枠、オイルパック、整流板を取り付けます。

「2. フード・本体の準備」手順1～3（11～12ページ）で取りはずしたときと逆の手順で取り付けます。

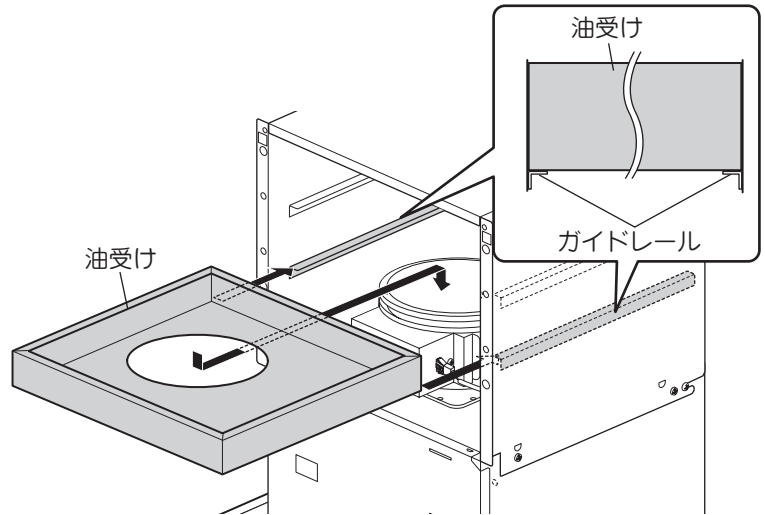
お願い

整流板の固定は確実にこなしてください。ロックが不十分だと整流板の落下の原因になりますので、取り付け後、再確認してください。

取り付けかた

6. 横ふた・フィルター類・前ふた・後ふたの取り付け

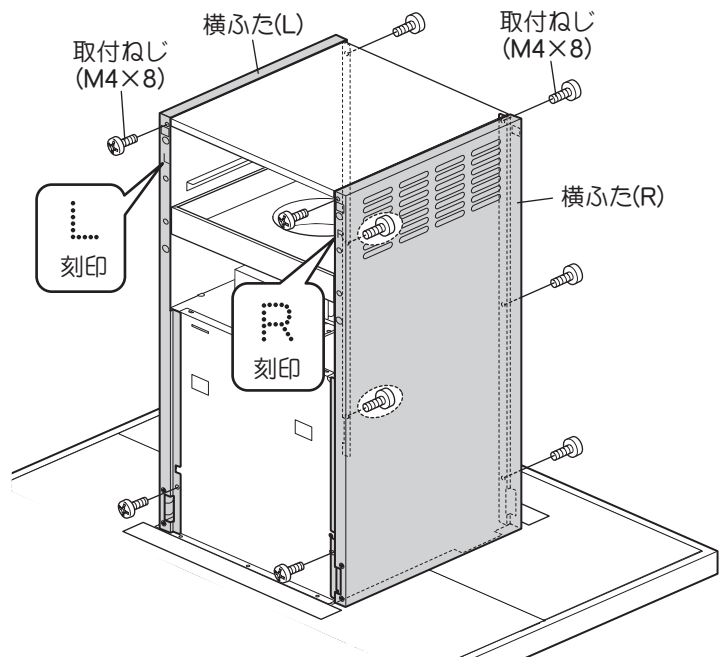
- 1** 油受けを取り付けます。
油受けの穴を排気口に合わせ、ガイドレールの位置まで押し下げます。



- 2** 横ふたを取り付けます。
横ふた R/L を付属品の取付ねじ (M4 × 8) 各 5 本で本体に固定します。
※ 横ふた R/L は右図位置にある刻印で確認してください。

お願い

取り付ける際は、フード天板面にキズをつけないよう注意して取り付けてください。



- 3** 各フィルターを取り付けます。
(23 ~ 25 ページ参照)

お願い

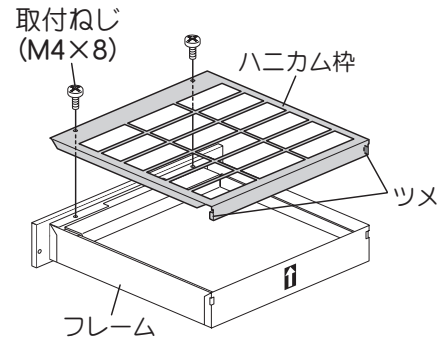
- ・ 各種フィルター類の取り扱いには十分ご注意ください。
落下させたり強くぶついたりすると、フィルター内部が破損するおそれがあります。
- ・ フィルターの粉が落ちる場合があります。
粉が衣服等に付着した場合、落ちなくなるおそれがありますので取り扱いには十分注意してください。

取り付けかた

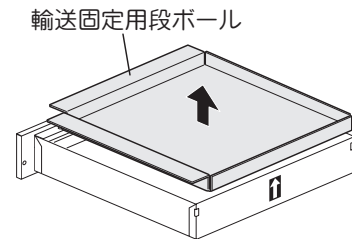
■ 脱煙フィルターの組み立て

脱煙フィルターは油吸着フィルターに重ねた状態でハニカム枠に収納され、本体に取り付けますが、出荷時は別梱包になっています。

- 1) ハニカム枠上側の取付ねじ2本をはずし、ハニカム枠を開きながら、下側2ヶ所のツメをフレームからはずします。



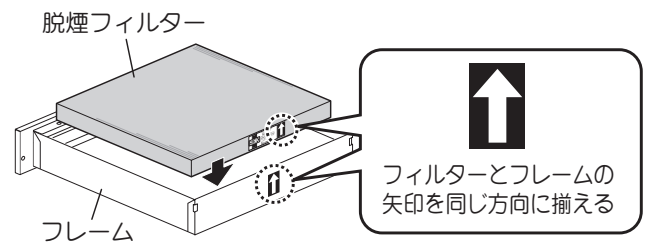
- 2) 輸送固定用ダンボールを取り除きます。



- 3) 脱煙フィルターを袋から取り出し、フレーム後端の矢印ラベルの方向と揃えて脱煙フィルターをセットします。

お願い

必ず脱煙フィルターとフレーム後端の矢印を揃えてセットしてください。誤った取り付けをすると性能が悪化したり、吸い込みが悪くなり、異音・振動などの原因となることがあります。



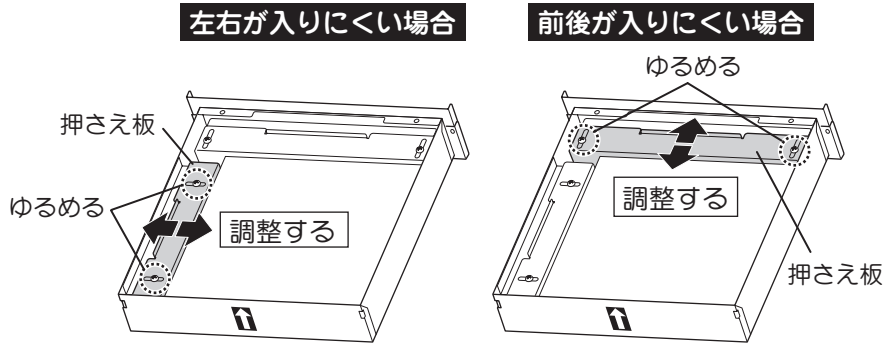
取り付けかた

■ 脱煙フィルターが入りにくい場合は

フィルターの奥行きや幅の大きさに若干のバラツキがあります。

脱煙フィルターがフレームに入りにくい場合は、下図に示す箇所のねじを少し緩めて押さえ板をずらしてから脱煙フィルターを挿入してください。

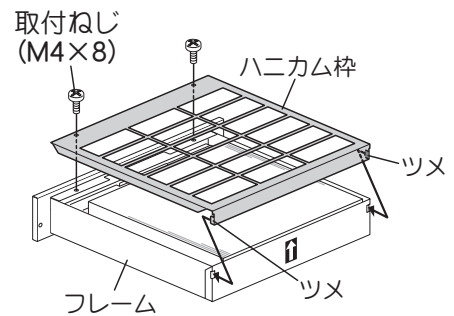
挿入後は脱煙フィルターにガタがないように押さえ板の位置を調整し、再度ねじを締め付けてください。



お願い

脱煙フィルターを挿入した後は、脱煙フィルターにガタがないように必ず押さえ板の位置を調整し、ねじを締め付けてください。性能の低下や異音の原因になります。

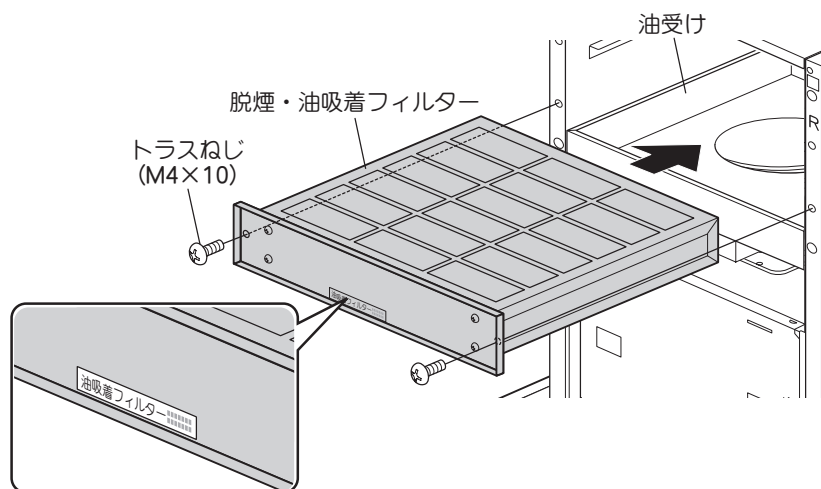
- 4) ハニカム枠下側のツメをフレーム下側の穴に合わせてふたをし、上側をはずした取付ねじ2本で固定します。



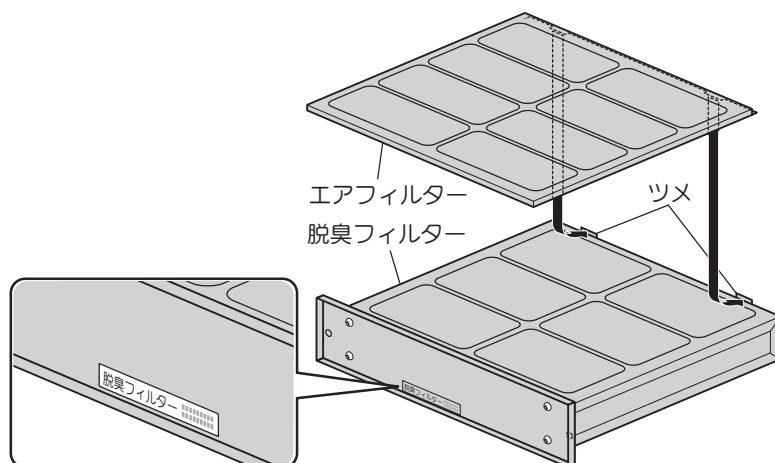
取り付けかた

■各フィルターの取り付け

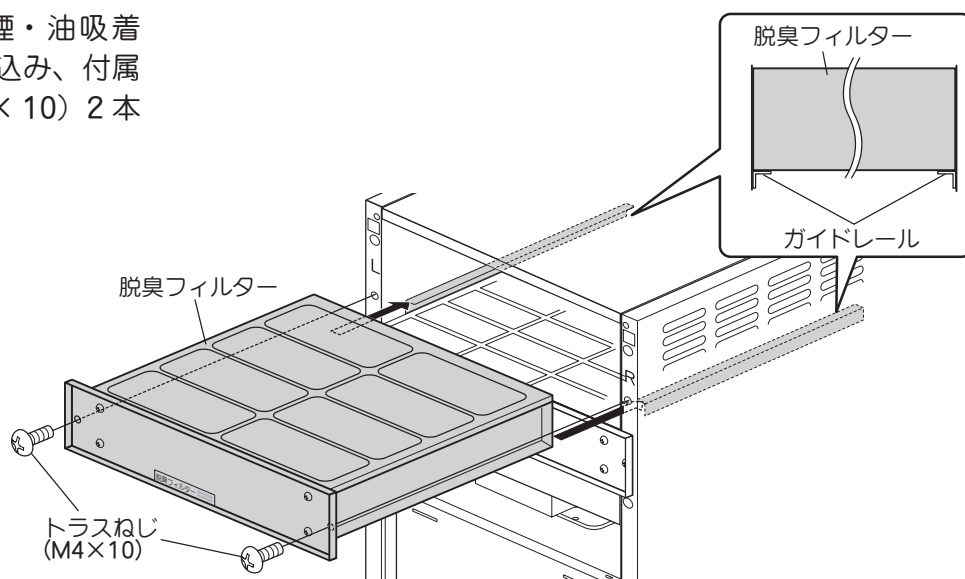
- 1) 脱煙・油吸着フィルターを油受けの上側にセットし、付属品のトラスねじ (M4 × 10) 2 本で固定します。



- 2) 脱臭フィルター奥側のツメに当てるようにしてエアフィルターを載せます。



- 3) 脱臭フィルターを脱煙・油吸着フィルターの上に差し込み、付属品のトラスねじ (M4 × 10) 2 本で固定します。



取り付けかた

4 前ふた・後ふたを取り付けます。

1) 前ふた上部のツメを本体引掛け部に入れ (①)、下側をストッパーで保持されるまで押し込みます (②)。

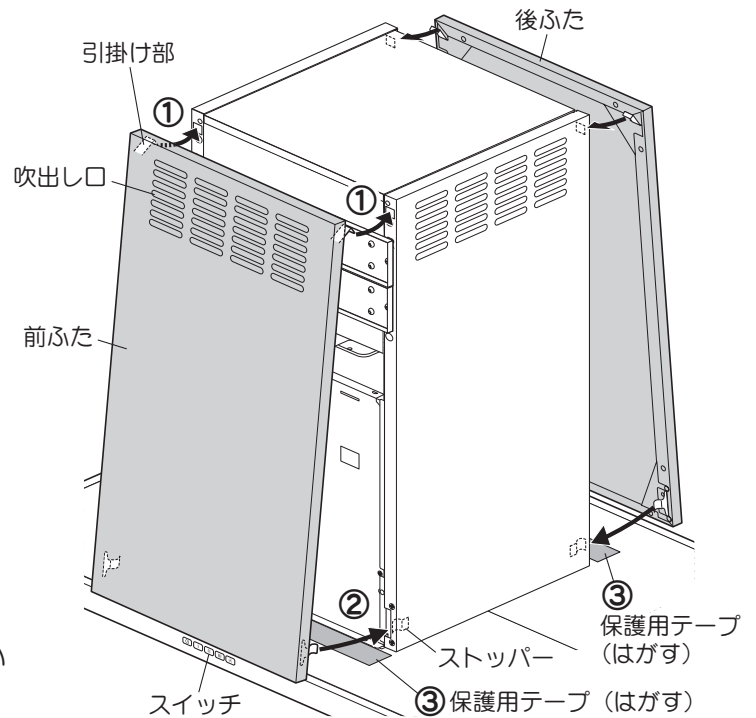
※ 前ふた・後ふたとも取り付けかたは同じです。

※ 吹出し口のある前ふたを、必ずスイッチのある側に取り付けてください。

2) 前ふた・後ふたを取り付けた後、フード天面の保護用テープをはがしてください (③)。

お願い

取り付ける際は、フード天板面にキズをつけないよう注意して取り付けてください。



取り付けかた

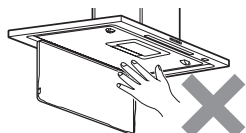
7. 試運転

⚠ 注意



接触注意

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります



使用禁止

- 施工時に換気目的で本製品を運転しないこと
内装工事等で有機溶剤（塗料・シンナー・ボンド等）を使用中や使用直後に運転すると、脱臭フィルター等に吸着・蓄積され、実際の運転中に薬剤成分・臭いが吹出し口から放出され、健康を害するおそれがあります
施工時は別途換気をおこなってください

- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速度調整による室内循環が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 製品の吹出し口から室内に循環され、異音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料となりますので十分確認してください。
- 製品保護のため、はずした保護用のクッション材と固定テープをもとの状態に取り付けてください。

8. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

